

教育学部特別支援教育コース（教職科目）カリキュラムマップ

養成人材	教職及び教科に関わる学問並びに芸術・スポーツ諸領域の総合的な研究及び教育を通して広く教育の発展に寄与し、主体的で豊かな人間性を基底としつつ教職に必要な専門的な知識・技能を身につけた、理論及び実践の両面にわたる力量ある質の高い教員の養成				
学位授与の方針	<p>①専門的な深い知識の修得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課程・コース・専修等ごとに定められた教育に関する専門的な知識・技能 ・教職に関する専門的な知識・技能 ・教科や専門分野に関する専門的な知識・技能 <p>②専門性のある幅広い基本的知識の修得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育の基盤となる基本的知識、態度、能力 ・日本国憲法に関する基本的な理解 ・心身の健康に関する基本的な理解と態度 ・人文学・社会科学・自然科学に関する幅広い理解 ・英語を用いて意思を疎通させる能力 ・情報リテラシーとプレゼンテーション能力 <p>③学部における人材養成の目的に合致した資質・能力の獲得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> ○力量のある教員に必要な知識・技能を活用できる能力 ・教科や専門分野に関する知識・技能を指導に生かすための方法的技術 ・教育実践を通じた子供理解と実践的指導力 ○教員に求められる人間性と社会性 ・教員としての使命感や責任感、教育的愛情 ・教員としての社会性や対人関係能力 ・社会貢献への強い意欲 ・学び続ける姿勢 				
年次	授業科目	到達目標	教育目標 1：教育学部では、力量のある質の高い教員養成を主眼とする。	教育目標 2：教育学部では、課程専修分野ごとに専門的教育を行い、教職の専門性と学問・文化の専門性の両方を修得させる。	教育目標 3：卒業要件として教員免許の取得を必修とし、教員免許・資格の取得に必要な教育課程を編成する。
1	教職入門 I	教育をめぐる現状と課題を理解し、大学における学修や研究への展望を明らかにし、教職への意欲を高める。	◎	○	◎
1	教育学概説 A (本質)	教育の理念・思想・歴史についての基礎的な知識を身につけ、教育という営みを多角的に理解するとともに、昨今の教育改革の動向や、教育をめぐる現代的な諸問題に対し、積極的に考察しようとする態度と、考察のための具体的な視点を学ぶ。	◎	○	◎
1	教育学概説 B (制度)	教育制度、教育法規に関する基本知識を身につけ、日常の教育活動における「制度」のもつ役割と意義を学習する。また、学校・学級経営の観点から、教育委員会や教員に求められている役割について考察する。	◎	○	◎
1	特別活動論	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における特別活動に関する基礎理論を学ぶ ・小学校の特別活動の教育実践に必要な基礎知識を習得する。 ・小学校の特別活動の実際を批判的に検討し、その発展を構想しうる新たな視点を習得する。 	◎	○	◎
1	教育心理学概説	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期・児童期・青年期の子どもの心身の発達過程について学ぶ。 ・発達障がいの子どもの特徴について理解する。 ・特別支援教育に関する基礎知識を獲得する。 ・学習過程の基礎としての動機づけや記憶・思考について理解を深める。 	◎	○	◎
1	総合的な学習指導法	総合的な学習の時間の目標や意義について理解し、その趣旨に沿った学びを実現するための指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。	◎	○	◎
1	ICT活用の理論と実践	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教員として、教授活動全般および学級・学校経営における問題解決の手段の一つとして情報技術を活用することができるICT活用指導力を高めるための見方考え方を知る ・学校教員が持つべき資質能力の一つとしての情報活用能力として、手段と目的を区別する見方、教育目標のよりよい達成のためにICT活用の考え方を知る ・実際によりよい教育目標達成のためにICT活用を工夫した授業の設計と模擬授業の実習体験を通して座学での学びを深める 	◎	○	◎
1	初等国語科概説	・「国語」に関する理解を深める。	◎	○	◎

1	初等社会科概説	テーマは「社会科が持っている多様性の理解」とする。社会科は地理・歴史・公民など様々な分野からなる複雑な教科内容を持つ。この授業では、社会科に関する様々なテーマを、担当教員がわかりやすく解説し、受講者に社会科が扱う教科内容の重要性や幅広さ、および教員が提示した個々の分野についての知識について一定程度理解させる。	◎	○	◎
1	算数科概説	小学校教員養成段階における力量形成として、算数科に関わる算数の内容（数と計算領域・量と測定領域・図形領域・数量関係領域）を確実に捉えること。算数指導の際に必要な、児童の学力や授業の看取りに関する素地を培うこと。数学を学ぶ立場から、算数を教える立場への意識転換を図ること。	◎	○	◎
1	初等理科概説	自然科学の基本的な知識、考え方について理解を深めることを目標とする。理科において求められている、観察・実験の技術を習得するため、実践的な活動をおこなうことを取り入れた授業を行う。	◎	○	◎
1	初等音楽科概説	教科音楽の授業を担当できる指導力を育成し、様々なジャンルの音楽のよさや美しさを味わう。	◎	○	◎
1	図画工作科概説	図画工作科を指導する上で必要不可欠な基礎的技能と考え方を修得する。	◎	○	◎
1	初等体育概説	小学校の体育教員としての最も基本的な知識を習得する。小学校教育の中で体育の意義と役割について理解する。身体運動を教えることの意味を理解する。	◎	○	◎
1	初等家庭科概説	・小学校の家庭科の学習内容について理解する。 ・生活のなりたちや生活上の課題について説明することができる。 ・生活主体者として自分の生活を様々な角度から眺め、理解する。	◎	○	◎
1	生活科概説	・生活科の目標及び内容など、学習指導要領にそって教科の特質を学びその意義を理解する。 ・教師は子どもの生活をどうとらえてきたのか、子どもの発達の課題をどこに見いだしたのかを考え、生活科を捉えることができる。 ・生活科の実践には何が求められているのかを考えながら生活科を捉えることができる。	◎	○	◎
1	初等英語科概説	小学校における英語活動・外国語（英語）科の基盤となる、各分野での基本的知識を身につける。授業実践に必要な英語運用力と、英語に関する背景的な知識を獲得する。	◎	○	◎
2	教職入門Ⅱ	・教育実習の概要や指導（授業案の作成等）についての理解を深める。 ・参観実習においては指導の実際に触れ留意点をとらえ、教育実習に対する課題意識を明確にする。	◎	○	◎
2	教育方法・課程論	・授業者としての自覚を持って、初等教育におけるよい授業とは何かを考えることができるようにする。 ・よい授業を創っていく上で必要な知識・技能と基礎理論を身に付ける。 ・授業を構成し、実践し、その実践を振り返ることのできる力量を身につける。	◎	○	◎
2	道徳教育論	・道徳教育の位置づけの変遷を押さえ、現代における道徳教育の課題について理解する。 ・道徳教育の意義と目標を理解する。 ・子どもを取り巻きさまざまな課題と道徳教育の関係について考える。 ・道徳の授業づくりのポイントを理解し、実際の授業案の作成と授業づくりができるようになる。	◎	○	◎
2	生徒・進路指導論	・児童にとっての学校の意味と、そこでの活動及び生徒指導と・進路指導について理解する。 ・教師にとっての生徒指導と進路指導の意味について理解する。 ・地域社会の中での子どもの育ちとそこでの支援について理解する。	◎	○	◎
2	教育相談	・児童期の子どもの心理的特徴について理解する。 ・教育の課題である不登校、いじめ、逸脱行動等の問題について、実態を知り、対応方法を学ぶ。 ・教育相談の実態を知り、教育相談の在り方について、具体的な場面を通して学ぶ。 ・全児童を対象とした予防的・開発的心理教育の意義と手法を学ぶ。	◎	○	◎

2	初等国語科指導法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領の内容と構成を理解する。 ・小学校国語科授業を構想することができる。 	◎	○	◎
2	初等社会科指導法	<ul style="list-style-type: none"> ・初等社会科指導法 ・初等社会科の性格・授業づくりの基礎について理解・習得することができる。 ・具体的な実践をできるだけ多く取り上げ、その分析を通して小学校社会科授業のあり方を考えられるようにする。 	◎	○	◎
2	算数科指導法	現在の算数教育動向を理解し、教職への意欲と関心を培うこと。特に算数の学習指導要領の趣旨とその内容の概要について理解し、それらの数学的な理解の基礎と小学校算数科における指導に必要な素地を培うことを通して、小学校算数科における教材と指導法について理解すること。数学を学ぶ立場から、算数を教える立場への意識転換を図ること。	◎	○	◎
2	初等理科指導法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校理科の教育課程の主な構成要素を理解する ・小学校児童の自然認識の発達の特徴を理解する ・小学校理科の指導法の主たる特徴を理解する ・小学校理科の学習指導案作成の基本を理解する 	◎	○	◎
2	初等音楽科指導法	教科音楽を担当できる資質・能力を身に付ける。音楽のよさや美しさを、児童に伝えられる力量を形成する。	◎	○	◎
2	図画工作科指導法	図画工作科の教員として必要な基礎的知識と授業実践力及び教材開発力を身に付ける。	◎	○	◎
2	初等体育科指導法	小学校体育科の理論および基礎的知識を身に付ける。模擬授業を通じて体育の学習内容である技能を体得し実践的な指導法を深く理解し、教師の支援の仕方を身に付ける。	◎	○	◎
2	初等家庭科指導法	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科教育の歴史の変遷を踏まえた上で、小学校における家庭科教育の目標を理解する。 ・家庭科の教育内容を理解した上で、適切な指導方法を用いた学習指導案を作成する。 	◎	○	◎
2	生活科指導法	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科の授業を創り出す上で必要な事項（教育方法・教育内容）について学ぶ。 ・受講生自身も活動して、生活科の特質である「活動によって学ぶ」ことの意義と楽しさを知る。 ・学習活動案の作成と模擬授業を行う。 	◎	○	◎
2	初等英語科指導法	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語活動・外国語の学習・指導に関する実践的な知識を身につける。 ○授業における指導と学習評価の基礎を身につける。 ○英語で授業を進める力の基礎を身につける ○英語の言語活動を作成できる 	◎	○	◎
2	基礎実習	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習の概要や教科指導（授業案の作成等）についての理解を深める。 ・参観実習においては授業の実際に触れ留意点をとらえ、教育実習に対する課題意識を明確にする。 	◎	○	◎
3	特別支援教育基礎論	<p>特別支援教育の理念や意義、および、そのシステムの概要を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①障害という状態や概念について理解する。 ②特別支援教育の歴史、理念、システムについての基礎的な事柄を理解する。 ③特別支援教育の対象となる障害の特性および基本的な対応について理解する。 ④障害はないが、特別の教育的ニーズのある子どもへの支援について理解する。 	◎	○	◎
3	応用実習 I	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習の体験を通して、教育学部学生としての一層の自覚を促し、将来の教職者としてのこれからのあり方を考える。 ・これまでに学んだ事柄の要素をつなげる有機的連関の中核として教育実習を捉え、自分なりの教師像を構築する。 ・子どもや教師とのかかわりの中で、子ども理解や教材解釈や授業案の作成の仕方、授業の中での説明や発問の仕方とその裏側にある熟慮や判断のあり方、授業後の反省過程における問題点の焦点化やそれらを乗り越える手立ての発見の仕方などについて具体的に学ぶ。 	◎	○	◎

4	教職実践演習（小・中・高）	<p>・教師の職責や直面する課題について理解を深め、教師としての資質能力（社会性・コミュニケーション力・児童理解力・指導力等）を高め、同時にその力量を自ら向上させるための教育臨床的研究の方法・知見の修得をより進めることを目的とする。</p> <p>・児童生徒の特質や心身の状況の理解のための資質・能力を向上させ、教材研究・カリキュラム開発、授業の計画・実施及び学級経営など、教育実践を行う上で必要となる技能と結びつけて実践力を高めることを目指し、それらを支える専門的な知見を総合的に深めることを目指す。これらを通して教師としての専門的な資質能力を確かなものとする。</p>	◎	○	◎
---	---------------	--	---	---	---

教育学部特別支援教育コース（専門科目）カリキュラムマップ

養成人材 教職及び教科に関わる学問並びに芸術・スポーツ諸領域の総合的な研究及び教育を通して広く教育の発展に寄与し、主体的で豊かな人間性を基底としつつ教職に必要な専門的な知識・技能を身につけた、理論及び実践の両面にわたる力量ある質の高い教員の養成

学位授与の方針	<p>①専門的な深い知識の修得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課程・コース・専修等ごとに定められた教育に関する専門的な知識・技能 ・教職に関する専門的な知識・技能 ・教科や専門分野に関する専門的な知識・技能 <p>②専門性のある幅広い基本的知識の修得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育の基盤となる基本的知識、態度、能力 ・日本国憲法に関する基本的な理解 ・心身の健康に関する基本的な理解と態度 ・人文学・社会科学・自然科学に関する幅広い理解 ・英語を用いて意思を疎通させる能力 ・情報リテラシーとプレゼンテーション能力 <p>③学部における人材養成の目的に合致した資質・能力の獲得に関連する事柄</p> <ul style="list-style-type: none"> ○力量のある教員に必要な知識・技能を活用できる能力 ・教科や専門分野に関する知識・技能を指導に生かすための方法的技術 ・教育実践を通じた子供理解と実践的指導力 ○教員に求められる人間性と社会性 ・教員としての使命感や責任感、教育的愛情 ・教員としての社会性や対人関係能力 ・社会貢献への強い意欲 ・学び続ける姿勢
---------	---

年次	授業科目	到達目標	教育目標 1：教育学部では、力量のある質の高い教員養成を主眼とする。	教育目標 2：教育学部では、課程専修分野ごとに専門的教育を行い、教職の専門性と学問・文化の専門性の両方を修得させる。	教育目標 3：卒業要件として教員免許の取得を必修とし、教員免許・資格の取得に必要な教育課程を編成する。
1	障害児の心理と指導	心理機能の発達と障害、障害に対する支援に必要な基礎知識を整理する	◎	◎	○
2	特別支援教育概論	障害児の教育をめぐる歴史を踏まえ、発達保障とそれに向けた教育の意義について考察する 制度課題と教育実践の関係性をとらえ、教師として何ができるかを具体的に考える	◎	◎	○
2	障害児の心理生理学	知的障害に関わる心理、生理及び病理の基礎を理解する	◎	◎	○
2	障害児教育課程総論	①特別支援教育における教育課程編成の特徴について理解を深める。②特別支援教育に関わる動向・課題について理解を深める。③特別支援教育における授業づくりの特徴について理解を深める。④特別支援教育における教師の役割・専門性について理解を深める。	◎	◎	○
2	知的障害児指導法	知的障害児および知的障害に伴うことの多い自閉症スペクトラム障害児への指導・支援を身につける	◎	◎	○
2	肢体不自由児の生理病理学	肢体不自由児における運動障害の基本的概念について、心理学・生理学・病理学各分野の知見を総合的に学び理解する	◎	◎	○
2	病弱児の心理生理学	①病弱児に特有の疾患・心理特性・二次障害を理解する。②原疾患（障害）を理解した上で病弱児の臨床像を把握する。	◎	◎	○
2	肢体不自由児指導法	①肢体不自由児の障害の特徴を理解する。②肢体不自由児教育の教育内容・方法の基本を理解する。③肢体不自由児教育の授業づくり・授業研究の基本的視点を理解する。	◎	◎	○
2	病弱児指導法	病弱児の疾病について理解とともに、その心理特性をおおむね把握し、その教育的支援について考えることができる	◎	◎	○

2	聴覚障害児教育総論	聴覚障害および言語障害児教育のために必要とされる基礎的な生理学、病理学、心理学、音響音声学、教育臨床に関する理解を深める	◎	◎	○
2	視覚障害児教育総論	①視覚障害児教育の歴史的経緯を踏まえ、この分野の最新状況や課題について理解する。②教育分野における視覚障害の定義、視覚障害児の心理・行動特性について把握する。③視覚障害児教育における指導法や評価手法についての理解を深める。	◎	◎	○
2	発達障害児の心理と指導	代表的な発達障害（ADHD、高機能自閉症、LD）について、①定義や判断基準、発達経過等の特性を理解する。②通常の学級での一斉指導、校内外の支援システムを活用した支援、保護者との連携、生涯を見据えた支援の考え方を理解する。③最新の研究成果や社会の動向について知る。④併せ持つことのある情緒障害の特性や対応を知る。	◎	◎	○
2	重度・重複障害児の心理と指導	重症心身障害児の発達をおおむね理解し、個に応じた指導法を考えることができる	◎	◎	○
2	特別支援教育基礎実習	特別支援学校で学ぶ児童生徒の特性、働く教員の職務、学校教育現場の実際等について広く学ぶ	◎	◎	○
3	障害児のアセスメント	①子どもの知能、言語、社会適応スキル、行動等のアセスメント方法を知る。②子どもの発達レベルや発達の偏りと学習や日常生活における状態とを関連付けてとらえられるようになる。	◎	◎	○
3	障害児教育演習 I A	特別支援教育に関する関心、問題意識を明確にする	◎	◎	○
3	障害児教育演習 I B	特別支援教育に関する関心、問題意識を明確にする	◎	◎	○
3	障害児教育演習 I C	特別支援教育に関する関心、問題意識を明確にする	◎	◎	○
3	特別支援教育応用実習	特別支援学校で学ぶ生徒の特性、働く教師の職務、学校教育現場の実際等を広く理解し、必要な教育実践力を身につける	◎	◎	○
4	障害児教育演習 II A	特別支援教育に関する問題意識を明確にし、その解決に向けた研究を行う	◎	◎	○
4	障害児教育演習 II B	特別支援教育に関する問題意識を明確にし、その解決に向けた研究を行う	◎	◎	○
4	障害児教育演習 II C	特別支援教育に関する問題意識を明確にし、その解決に向けた研究を行う	◎	◎	○
4	論文	特別支援教育に関する問題意識を明確にし、その解決に向けた研究をまとめる	◎	◎	○